

地球環境改善チェックシート[2021年版]

家庭で出来る取り組み例		自己採点	備考
1 温暖化抑制	再エネ重視の新電力へ切換え		家庭の新電力普及は19% (資源エネ庁 2020)
	環境重視企業・政治家を応援		グリーン活動を積極的に推進する企業が増えている
	庭やベランダで緑・野菜栽培		植物は光合成で空気中のCO2を吸収、O2を排出
	車使用の削減、車のEV化		CO2発生の約20%は自動車等の運輸関係
	照明のLED化、こまめな節電		家庭の電力消費の約15%は照明、LEDは蛍光灯の50%
	冷暖房エネルギーの削減		高断熱のマンションや二重窓で冷暖房エネルギー削減
	太陽光発電・温水機の利用		太陽光発電のある持ち家は9% (太陽光発電協会 2020)
2 大気・海洋汚染防止	使い捨てプラ包装の削減		日本の使い捨てプラの量は米国に次ぎ2位
	エコバック、マイボトル持参		エコバック利用率約80%、マイボトル利用率約40%
	環境に優しい洗剤を使用		洗剤の約90%は合成洗剤、10%は石鹼 (経産省 2018)
	包装プラをスーパーへ返却		回収箱を配置するスーパーが増えている
	地元産品の購入		遠隔地からの輸送によるCO2発生が莫大
3 食料廃棄削減	もったいない、食べ残しゼロ		日本の食品廃棄600万t/年、47Kg/人 (農水省 2017)
	過剰生産廃棄される食品不買		恵方巻、おせち、クリスマスケーキ等の季節品
	賞味期限が近い食品積極購入		賞味期限に振回されない買い物 (消費期限ではない)
	計画的食品購入と冷蔵庫管理		冷蔵庫を日頃から整理しないと食品廃棄が増える
4 3R徹底	ごみ分別による再利用促進		日本のごみ焼却率は約80% (環境省)
	生ごみを焼却せず肥料化		燃えにくい生ごみのため、廃棄プラを混ぜて焼却
	衣類リサイクルの活用		メルカリ利用等
	節水(トイレ、シャワー)、雨水利用		温暖化で水不足も多発の懸念

上記20の取組項目について、各自・各家庭の状況を1~5点の5段階で自己採点して下さい。100点満点。

採点日: 年 月 日 点